

# 6次産業化を 成功させるためのポイント

経営革新等認定支援機関・アグリビジネス支援  
清水中小企業診断士事務所

清水 康雄

## 1 6次産業化とは

6次産業化とは、自家農業の付加価値向上を目指した、農業生産と加工・販売の一体化の取り組みです。これまで農業生産に専念してきた農家が、直接販売や加工など消費者により近い事業分野に進出することで、従来以上の所得向上を実現することができます。

三重県の6次産業化の取り組み状況は、表のとおりです。

【表】三重県の農業6次産業化の状況

	加工	直売所	観光農園	農家民宿	農家レストラン	合計	備考
年間販売金額 (単位：百万円)	23,305	21,782	1,476	305	2,493	49,361	農業産出額 1,106億円の 44.6%相当
事業体数	660	370	60	10	30	1,130	

※農林水産省「6次産業化総合調査」令和元年度を基に作成

## 2 メリット・デメリット

6次産業化に取り組むメリットとして、前述した自家農業の高付加価値化による「所得向上の実現」が挙げられます。また、「規格外品の有効利用（廃棄ロス等の削減）」「自家農産物のブランド化」「雇用の創出」を通じて地域振興を図ることができます（図）。

一方デメリットは、新事業への慣れや準備不足などで「計画通りの売上・収益が上げられない」「投資コストがかさむ」さらには「販売代金の回収リスク」「クレーム・食品事故等のリスク」などがあり、失敗事例も多くみられます。

## 3 成功事例 ～農業生産との 相乗効果～

### 〈果樹等経営・A法人の例〉

A法人は、有機栽培果物の観光農園とスイーツの加工販売を行っています。

現代表がスイーツ加工に着手するに際して、「自社農産物のおいしさが分かる本物の加工品でなければならぬ」と考えました。そのため、都心のスイーツ店の視察や専門家の助言を受けて試行錯誤を繰り返して、数年かけて自社農産物100%（果肉のほか、皮やヘタまで利用）のスイーツ類を開発

しました。そして、この製品は「日本の農家が作った本物のスイーツ」として、ヨーロッパ菓子業界から伝統的な表彰を相次いで受賞するなど高い評価を受けました。

A法人では、これをホームページやSNSで繰り返し発信して、観光農園で来園したファミリー層を中心に、農家カフェでスイーツを楽しんでもらったり、お土産・通販の売上に繋げたりして、事業展開を行っています。

これらは、追隨する競合がない独自のビジネスモデルです。現在は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で一時来園客が減少した影響も挽回して、さらに生産面積を拡大し、より一層の成長を目指しています。

コロナ禍の対策として、相当数の農家が加工や通販に進出していますが、この事例のように自家農産物の品質の良さを十分に生かして、農業生産と6次化事業が相乗効果を得られる取り組みが、6次産業化の成功に不可欠と考えられます。

## 4 失敗事例 ～農業あつての 6次産業化～

### 〈果樹経営・B法人の例〉

B法人は、自社の有機栽培果物を使った農家カフェを相次いで出店していました。しかし、コロナ禍の影響で売上が急減する事態になりました。もともと、それまでの出店が急だったため店舗ごとのコンセプトが統一されず、対象顧客もメニューもバラバラだったことが要因の一つといえます。また、食材でも自社生産が間に合わずに、有機栽培でない仕入品を使用するようになった状況でした。そして、コロナ禍が直撃し、赤字を拡大させる結果になりました。

現在、B法人は、取引銀行から指導を受け、6次産業化の原点に戻って農業と相乗効果を発揮できる範囲でのカフェ部門のあり方を再整理し、不振店舗の削減に取り組んでいます。

## 5 成功させるための ポイント

筆者は、コロナ禍において、6次産業化に取り組む農家・法人から経営改善の相談を受けるケースが増えていきます。その中には、B法人のようにコロナ禍の影響以前の問題として、6次産業化の取り組み方針そのものに課題がある事例が複数ありました。

改めて、6次産業化の取り組みでは、次のような事項をしっかりと整理・確認して取り組むことが不可欠です。

- (1)自家の農業生産と6次化事業の相乗効果が期待できるよう、取り組み方針と事業コンセプトを明確化する。
- (2)進出する事業の業界動向、競合の状況を正確に把握し、自家の製品・サービス等の競争優位を確認して着実な販路を確保する。
- (3)事業運営ノウハウ、人材確保・人員計画、設備投資・資材調達、仕入・販売計画、資金調達など、実効性のある事業計画を策定する。

## 6 相談窓口

6次産業化の取り組みには、明確な事業方針と計画的な準備が不可欠です。

JAバンクでは、事業計画の策定等にあたってプロの専門家がアドバイスする「JAバンク三重専門家派遣事業」を行っていますので、ぜひJA担当者にご相談ください。

【図】6次産業化のイメージ

生産

加工

流通・  
販売

1次産業 × 2次産業 × 3次産業

農林漁業者が自ら  
加工・流通（販売）に取り組む

6次産業化

- 所得向上
- 雇用の場の創出
- 地域の活性化